

## 令和3年度第2回 府中市地域公共交通計画策定検討部会 会議録（要旨）

開催日時 令和3年10月26日（火） 午前10時から午前11時30分

開催場所 府中駅北第二庁舎3階小会議室

出席委員等 8名（名簿順）

岡村敏之委員、榎本聡委員（代理：田草川朝子氏）、篠田貴宏委員（代理：宮本敏行氏）、早田俊介委員、小泉裕樹委員、小宅肇委員、平野景一委員、松村秀行委員

欠席委員 1名

齊原潤委員

事務局

高橋都市整備部次長兼計画課長、松本計画課交通企画担当主幹、國分計画課長補佐、浅見計画課交通企画担当主査、荒井計画課事務職員

傍聴者 なし

議事次第

1 開会

2 協議事項

(1) 公共交通利用者アンケートの調査結果について

(2) 地区別カルテについて

(3) 今後の進め方について

3 その他

4 閉会

## 会議概要

### 事務局

それでは定刻でございますので、ただいまから府中市地域公共交通計画策定検討部会を開会していただきたくと存じます。開会に先立ちまして、都市整備部次長の高橋よりご挨拶申し上げます。

### 事務局

本日はお忙しいなかお集りいただきまして、誠にありがとうございます。

これまでに行った各種の調査の結果、本市における公共交通に関する移動実態や現状の課題などが明らかになってきております。今後計画の方針・目標などを検討するにあたって、基礎的な資料となる内容ですので、引き続き委員の皆様より貴重なご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

### 事務局

お手元に当日資料をお配りしておりますので、確認をさせていただきます。

(当日資料の確認)

### 事務局

人事異動により、一部の委員に変更がありました。京王電鉄株式会社の篠田様につきましては、8月19日付で委員として正式に委嘱をさせていただきましたので、ご報告いたします。

以降の議事進行につきましては、部会長である岡村委員にお願いしたいと思っております。それでは、岡村部会長よりよろしくお願いいたします。

### 部会長

ただいまから、令和3年度第2回府中市地域公共交通計画策定検討部会を開会いたします。

はじめに、本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

### 事務局

(齊原委員の欠席及び榎本委員の代理として東日本旅客鉄道株式会社八王子支社総務部経営企画室の田草川氏、篠田委員の代理として京王電鉄株式会社鉄道事業本部計画管理部の宮本氏が出席する旨報告)

### 部会長

つづきまして、傍聴者の有無について事務局から報告をお願いします。

### 事務局

(傍聴希望者がいない旨報告)

### 部会長

それでは、次第「2 協議事項」に移ります。協議事項「公共交通利用者アンケートの調査結果について」でございます。事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき詳細説明)

部会長

この件について、ご質問等はありませんでしょうか。

委員

資料3の2ページについて、タクシー利用時の良くない点として「420円で行ける距離なのに、料金が500円になる様なコースを選んでいる運転手がいる。」とありますが、初乗り料金がエリアによって異なり、東京23区、武蔵野市、三鷹市では420円、その他の多摩地区では500円となっているため、三鷹周辺などエリアが競合する場合に、そのような状況が生じていると考えられます。都内で初乗り料金が2つあることに伴う誤解であり、ドライバーが故意に遠回りをしていることは考えにくいです。

アンケートの結果なので、資料の訂正は必要ないですが、その点に留意していただきたいと思います。

委員

資料1の3ページの図15・16で、ちゅうバスがない場合の外出頻度の変化と、代替の交通手段が示されていますが、代替手段として鉄道や路線バスが挙げられていることや、ちゅうバスがない場合でも外出頻度が変わらない人が一定数見られることから、ちゅうバスの役割が他の交通手段と重複しているところがあるのではないかと感じました。

また、4ページの図18～21について、「府中駅周辺へのアクセス」が重要である一方で、「生活圏域内の移動のしやすさ」の重要性も同じ程度の割合となっていますが、ここでいう「生活圏域内」に府中駅が含まれるのか気になりました。おそらく含まれるのだと思いますが、府中駅が生活圏域に含まれるか否かは、ポイントになると思いました。

なお、資料2の3ページの表2で、「運行本数の多さ」について満足度が低い路線の詳細を整理していただけていますが、そのなかで「府中駅 国立駅」の路線と「総合医療センター 府中駅」の路線については、今年の10月1日に運行本数を増やしています。調査日の7月16日時点から状況は変わっていると思われるので、補足いたします。

部会長

ありがとうございました。

アンケート調査結果については、属性別の集計を行っていくことで、詳細が見えてきます。現時点では、調査結果の概要として高齢者もそうでない方も同じように設問ごとに集計をしていますので、今後も引き続き集計・分析をお願いします。

続いて、協議事項「地区別カルテについて」事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき詳細説明)

委員

資料5について、移動実態の矢印として「通勤」を記載していない理由があれば教えてください。

事務局

市民アンケート調査の結果を地区ごとに整理したものですので、通勤状況も示すことは可能ではありますが、今回の資料における移動実態の矢印は日中の買い物などの利用に絞ってお示ししています。なお、通勤については「日常利用する駅」という形で整理しています。

部会長

本資料は、バスの路線を検討するに当たっては非常に重要で、ちゅうバスと路線バスの重複区間における利用状況を把握することで、重複していても利用のすみ分けができていない区間と、運賃が安い方に利用が流れている区間が整理されるのではないかと思います。

その他にご意見等がなければ、続いて、協議事項「今後の進め方について」事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき詳細説明)

部会長

「ちゅうバス事業の評価検証」におけるOD表については、ちゅうバス利用者アンケートの調査結果をもとにしているようですが、調査票の有効回収率が44.5%ということで、傾向は概ね正しく示しているものと思われるものの、別途実施しているカウントシステムによる停留所ごとの乗降者数調査の数値と照らし合わせ、整合がとれない箇所がないか確認する必要があると思います。これらのデータを基に今後計画策定を進めていくことになるので、異常値がないか、実態に即した数値になっているか、確認をお願いします。

事務局

ご指摘のとおり、利用者アンケートの調査結果は調査日1日のみの数値ですので、特殊な状況が発生している可能性はあります。カウントシステムによる調査結果の数値と今回のアンケート調査の数値が一致しているか、確認したいと思います。

部会長

次回の部会では、先程説明いただいた資料をベースにちゅうバスの評価検証を行うこととなります。最終的な目的は、地域公共交通計画を策定することですが、具体的にどのような項目で評価検証を行うのでしょうか。

事務局

次回の部会では、ちゅうバスの当初の導入目的の達成状況のほか、アンケート調査などにより把握した実際の移動ニーズや新たな課題等を整理し、ちゅうバス事業をこのまま継続するのか、何らかの見直しをする必要があるのか、検証したいと考えてい

ます。

部会長

市内のバスがちゅうバスだけであれば、ちゅうバスが府中駅にどれだけ人を集めているかなど、淡々とデータを確認するだけでよいですが、市内には路線バスも運行しているので、ちゅうバスが路線バスの利用者を奪っているような状況があれば、結果的にちゅうバスの見かけの収支は上がることとなります。ちゅうバス事業の評価・検証に当たっては、路線バスとの分担状況や、鉄道を使って移動できる区間でもあえて安価なちゅうバスを利用しているといった実態についても、良いか悪いかは別として、データとして整理する必要があると考えます。

地区別カルテで整理される地区ごとの課題と、ちゅうバス事業の課題を別々にやってしまわないよう、ちゅうバス自体の事業の評価だけでなく、地域の課題や市内全体の公共交通ネットワークの課題を整理するためのプロセスとして、検証をしてもらいたいと考えています。

委員

当日資料「ちゅうバス事業の評価検証」の1ページのグラフをみると、ちゅうバスは年間200万人に利用されており、運賃が100円であるため、単純計算で売上は2億円となると思います。収支状況のグラフをみると1億3400万円の収入となっていますが、この差が生まれている理由は何でしょうか。補助金額と一致しないのではないのでしょうか。

部会長

令和2年度の利用者は146万人で、収入は1億3400万円ですので、近似値となっています。乗り継ぎをする人もいるので、数値が完全には一致しないのではないのでしょうか。

○事務局

その他には、運賃は消費税抜きの金額が収入となっていることが影響しています。また、グラフに色々と情報を載せてしまい分かりづらくなっているので、見せ方を工夫したいと思います。

委員

補足ですが、回数券の利用者が全体の3割程度みられ、回数券は5%程度の割引になっているため、その影響もあり数字が完全に一致していないと考えられます。

委員

資料にあるグラフだと読み取りにくいいため、市民に公表する際には、見せ方に留意するようお願いいたします。

部会長

ありがとうございました。

つづいて、「3 その他」について事務局から説明をお願いします。

事務局

次回の部会は、12月上旬頃の開催を予定しています。また、1月下旬には協議会を開催し、本会で検討した内容を報告する予定です。

部会長

最後に全体を通して、ご意見等はよろしいでしょうか。

それでは、本日の議事はこれで終了です。本日は閉会といたします。

どうもありがとうございました。

以 上